Driveman®
1080GS / T1080GS

お買い上げの日から1年間、故障が発生した場合には販売店サービス窓口または弊社ドライブマン事業部に修理をお申し付けください。無料にて修理または、弊社判断により製品交換をさせていただく場合がありますので、あらかじめご承知ください。
保証期間内であっても以下の場合には有償とさせて頂きます。

1.この保証書の添付が無い場合。
2.保証書に販売店名、お客様のお名前、保証開始の日付記載が無い場合。
3.（2）の記載内容が書き換えてある場合。
4.使用上の誤り、改造、修理などのあとが見受けられる場合。
5.落下、水没、取付場所の移設などが原因とする故障の場合。
6.天災、地震、風水害、落雷、その他の自然災害、第三者による行為での故障及び破損。
7.車両搭載用ドライブレコーダー以外の用途に使用した場合。
8.部品の消耗や摩耗が原因の故障の場合。
9.お客様の要望による出張修理を行う場合の出張料金。
10.業務用使用の場合。
11.接続している他の機器及び不適切な使用に起因して生じた故障及び破損。

この保証書は日本国内においてのみ有効です。
この保証書は再発行致しません。
製品保証はドライブマンに限定されます。SDカードは消耗品です、保証対象外となります。記録媒体の映像記録やメモリーなどが使用中、あるいは使用後、何らかの事情でその記録内容が消去、破壊された場合には弊社はその責任を一切負うものではありません。弊社の責任と保証は製品を限度とします。
本製品は事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが完全な証拠として効力を保証する物では有りません。
本製品の故障又は使用により生ずる直接、間接の損害及び付随的損害については弊社は一切責任を負いません。

ドライブマン事業部 アサヒリサーチ株式会社
〒141-0031 東京都品川区北品川3-3-8
URL ホームページ http://www.driveman.jp　support@driveman.jp

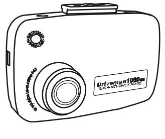
（キリトリ線）

（キリトリ線）

1-0019-02

ドライブレコーダー

Driveman®
1080GS / T1080GS
取扱説明書
（サンプル）



このたびはドライブマン1080GS T1080GSをお求めいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書に記載の「安全のための注意事項」をお読みください。
取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しく使用してください。
保証書は、大切に保管してください。

Copyright (C) 2016 ASAHI RESEARCH CORPORATION. All Rights Reserved.

安全のための注意事項
ここに示す注意事項は、いずれも安全に関する大切な内容ですから、必ず守ってください。

してはいけない内容

- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- ディスプレイには、絶対に衝撃を加えないでください。
  衝撃を加えるとパネルが割れ、火災、感電、けがの原因となります。
- 電源ケーブルを抜く時は、プラグやコネクタを持って抜いてください。
  ケーブルを引っ張るとケーブルに傷がつき発熱、火災、けが、感電の原因となる恐れがあります。
- 本製品が水、薬品、液体によって濡れた場合は使用しないでください。ショートによる火災、感電の恐れがあります。
- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、動作不良などの原因となります。また、お客様による分解、改造をした結果発生した故障等については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品を濡れた手で扱わないでください。
  特に電源ケーブルを濡れた手で触れると、感電や故障の原因となる恐れがありますので、ご注意ください。
- 安全のため運転中に操作をしないでください。運転中の操作は事故につながる恐れがあります。必ず停車後に操作して下さい。

必ず実行する内容

- 電源ケーブルのUSBプラグは、確実に差し込んでください。
  差し込が不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 本製品は、所定の位置に正しく取り付けた上でご使用下さい。
  誤った取り付けをされると、製品が正しく動作しないだけではなく、運転の支障となったり、運転中に製品が落下する可能性がありますので大変危険です。
- 電源ケーブルはDC12VまたはDC24Vのアクセサリー端子に接続してください。
- 煙が出たり、異臭がしたら、すぐに安全な場所でエンジンを切ってエンジンキーを抜いた状態で、電源ケーブルを抜いてください。
  そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。

その他、注意事項

- 仕様書の保証は、製品に同梱のSDHCカードを使用した場合にかぎります。 他のSDHCカードの動作保証をするものではありません。
- SDHCカードは消耗品です。
  耐用年数は毎日使用した場合約1年間です。(24時間連続使用の場合)
- LCDのドット欠けや暗点が一部ある場合が有りますが不良では有りませんのでご了承ください。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。
- 他社製のUSBコネクターを接続するとドライブマンが故障する場合があります。
- SDHCカードを押し出すとき、カードが飛び出て紛失する場合がございますので、十分注意して下さい。
- レンズが汚れていると綺麗な映像を得られません。
  お手入れは、柔らかい布等で汚れをお取りください。
- 万が一、何らかの理由により録画されなかった場合の録画内容の保証については弊社は一切その責任を負いません。

電波関係

- 強い電波の近くでは映像が乱れる場合があります。
- 放送局(アナログTV、AM、FMラジオ）送信電波塔や、無線局【業務局、アマチュア無線局、高出力27MHz帯不法市民ラジオ等】基地局、移動局等の近くでは、強力な電波により録画映像の乱れや音声に無線の電波が飛び込むことがあります。
  電子レンジ等の強力な電波発生源も映像乱れの原因になります。
- ETCなどの配線にドライブマンが干渉する場合があります。
  影響の出ない所に設置して下さい。

1. 梱包品のご確認

梱包内容						
本体	3芯車載用電源ケーブル	可変ブラケット	HDMIケーブル	ACアダプタ	SDHC（Class6以上）	取扱説明書 保証書 1冊

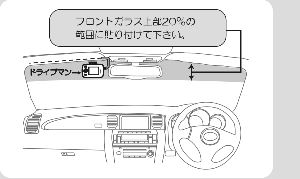
オプション				
シガーソケットアダプタ	2芯車載用電源ケーブル	AVケーブル	吸盤ブラケット	PLフィルター

※パッケージに上記のものがすべて揃っているかご確認ください。
※本体以外はオプションでお買い求めいただけます。
※SDHCカードは、メーカー等により使用できないものもあります。
※シガーソケットアダプタ、2芯車載用電源ケーブルもご使用できますが、ドライブモード専用です。セキュリティーモードにはなりません。
※SDHCカードはClass6以上のものをご使用下さい。
※シガーソケットアダプタ、2芯車載用電源ケーブル、AVケーブル、吸盤ブラケット、PLフィルターは別売になります。
※高温注意：直射日光に当たる場所や室内温度が高くなる場所では本体の金属部分（三脚穴など）も高温になります。火傷の原因になる場合がありますので温度が下がったのを確認してから扱うようにしてください。
※PLフィルター
フロントガラスへの映り込み（反射光）を減少する事が出来ます。
※T1080GSにはシガーソケットアダプタはご使用できません。
※T1080GSにはACアダプタ、HDMIケーブルは同梱されていません。

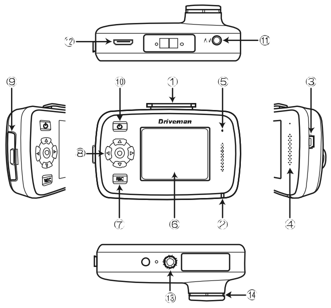
2. 本体取付、取外しについてのご注意

1.運転中の視野の障害にならない位置
2.フロントガラス上部20%の範囲に貼り付けて下さい。
3.室内ミラーを方向調整しても接触しない位置
4.ワイパーで水滴が拭き取れる位置
5.ブラケットとブラケット取付部は挿入後、両端が揃う迄差し込んで下さい。
6.ブラケットを外す場合は電源ケーブルを抜いてから横にスライドさせて外して下さい。

注1）ブラケットの両面テープは、本来の接着力が出るまでには一日ほどかかりますので、それまではあまり大きな力をかけないでください。
注2）取付作業中にレンズに触れないで下さい。



3. 各部名称

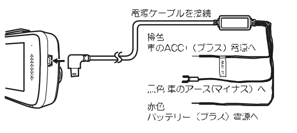


① ブラケット取付部
② LEDランプ
（赤：録画中、緑：待機中）
③ 電源ケーブル接続部
（ミニUSB）
④ スピーカー
⑤ マイク
⑥ 画面（LCD）
⑦ RECボタン（録画の任意停止/開始）
⑧ 十字ボタン
⑨ SDHCカードスロット / 蓋
⑩ 電源ボタン
⑪ AV出力端子（3.5φミニジャック）
⑫ ミニHDMI端子
⑬ 三脚ネジ穴
⑭ PLフィルター用溝

4. ケーブル接続

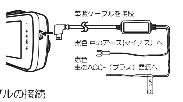
●車載用電源ケーブルの接続
本体に3芯車載用電源ケーブルを差し込んで下さい。
ヒューズボックスなどの安定した電力の取れるターミナルに接続して下さい。

注）オーディオ等の背面から電源を取らないで下さい。



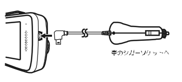
3芯車載用電源ケーブルを配線し、初めて取り付けた場合や、本体を取り外して再度取り付けた場合は、セキュリティーモードが動作します。エンジンをONにして録画、OFFにしてセキュリティーモードになるか確認してください。

注）2芯車載用電源ケーブルをご使用の場合、セキュリティーモードにはなりません。
（ドライブモード専用）

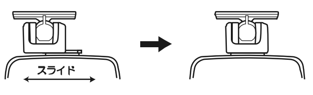


●シガーソケットアダプタケーブルの接続
車のシガーソケットにシガーソケットアダプタを差し込んで下さい。

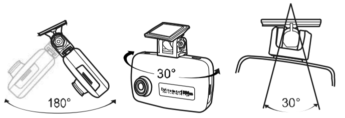
注）シガーソケットアダプタをご使用の場合、セキュリティーモードにはなりません。（ドライブモード専用）



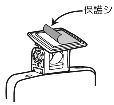
5. ブラケットへの取付、取り外し方



ブラケットを左右どちらかにスライドさせると取り外しが出来ます。
前後180度の回転に加えて左右30度、傾き30度の方向に調整が出来ます。



注1）ブラケットを無理に傾けると破損する場合がありますのでご注意下さい。
注2）ブラケットの角度調整がゆるくなった場合はビスを締め付けて下さい。

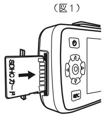


両面テープの保護シートを剥がします。
フロントガラスに貼り付ける際は、よくガラス面の汚れ（油など）を拭き取って下さい。

6. 操作方法

1.蓋を開け、SDHCカードを入れて下さい。（図1）

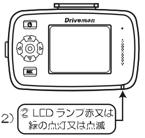
（図1）



注1）SDHCカードが入っていない場合、警告音と② LEDランプ緑が点滅し「SDカードが確認できません」と表示されます。そのままですと1分後に電源OFFします。
注2）撮影モード中は絶対にSDHCカードを抜かないでください。SDHCカード内の記録が破損する恐れがあります。
注3）録画中にSDHCカードを抜くと最終ファイルが記録されません。録画停止確認後SDHCカードを抜いてください。
注4）エラーが出る場合はさし直して下さい。

2.エンジン始動で録画が開始され② LEDランプの赤が点灯します。（図2）
エンジン停止で録画が停止し② LEDランプの赤が消灯します。

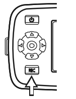
（図2）



LEDランプ
赤・・・・・・録画中
赤点滅・・・セキュリティー録画中
緑・・・・・・待機中
緑点滅・・・SDカード無し

3.録画を停止するには、⑦ RECボタンを押します。（図3）
再度録画を開始するにはもう一度⑦ RECボタンを押して下さい。

（図3）

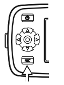


7. 時計設定

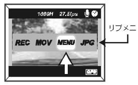
GPSが内蔵されていますので、日時情報が自動で補正されます。
※GPSの受信環境により受信しにくい場合があります。
GPS信号受信時には、画面右下に GPS のアイコンが表示されます。
GPS
GPS信号が受信出来ない場合には以下の手順で設定して下さい。

1. 電源ケーブルを本体に差し電源を入れます。
2. 録画が始まりますので、⑦ RECボタンを押して録画を止めます。（図1）
3. いずれかのボタンを押すと REC MOV MENU JPG サブメニュー1（図2）が表示されますので Menu にカーソルを合わせ ⑧十字ボタン中央を押します。

（図1）

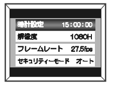


（図2）



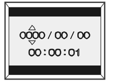
3. メニュー画面が出ますので、時計設定 にカーソルを合わせ ⑧十字ボタン中央を押します。（図3）
4. 西暦日時が表示されますので、上下ボタンで合わせたい日付に合わせ、⑧十字ボタン右を押すとカーソルが次に移ります。（図4）
5. 西暦日時をすべて合わせましたら、⑦RECボタンを押します。

（図3）



時計設定 15:00:00
解像度 1080H
フレームレート 27.5fps
セキュリティーモード オート

（図4）



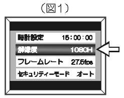
0000 / 00 / 00
00:00:01

8. 解像度設定

1. メニュー画面から、解像度 にカーソルを合わせ ⑧十字ボタン中央を押します。（図1）
2.1080H、1080L、720Pの選択画面が出ますので、ご希望の解像度を上下で選んで ⑧十字ボタン中央を押し決定します。（図2）

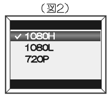
1080H	1080×1920ドットで高画質で撮影します
1080L	1080×1920ドットで長時間モードです
720P	720×1280ドットで撮影します

（図1）



時計設定 15:00:00
解像度 1080H
フレームレート 27.5fps
セキュリティーモード オート

（図2）

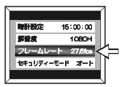


✓ 1080H
1080L
720P

9. フレームレート設定

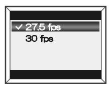
1. メニュー画面から、フレームレート にカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。（図1）
2. 27.5fps、30fpsの選択画面が出ますので、ご希望のフレームレートを上下で選んで⑧十字ボタン中央を押し決定します。（図2）
※ 30fpsを選ぶと60Hz地域でLED信号対策非対応となります。

（図1）



時計設定 15:00:00
解像度 1080H
フレームレート 27.5fps
セキュリティーモード オート

（図2）

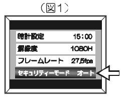


✓ 27.5 fps
30 fps

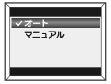
10. セキュリティーモード設定

1. メニュー画面から、セキュリティーモード にカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。（図1）
2. オート、マニュアルの選択画面が出ますので、ご希望の設定を上下で選んで⑧十字ボタン中央を押し決定します。（図2）

（図1）

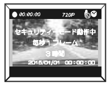

時計設定 15:00
解像度 1080H
フレームレート 27.5fps
セキュリティーモード オート

（図2）



3. セキュリティーモードになりますと、画面（LCD）に「セキュリティーモード　動作中　毎秒1フレーム　3時間」と表示され（図3）②LEDランプが赤点滅します。

（図3）


00:00:00 720P
セキュリティーモード動作中
毎秒１フレーム
３時間
2015/01/01 00:00:00

セキュリティーモード　動作中
毎秒１フレーム
３時間

※セキュリティーモード時は 720P固定です。

オートモードとは？

エンジン停止後、自動的に”セキュリティーモード”になり1秒間に1フレームで3時間記録した後、自動で電源をOFFします。

マニュアルモードとは？

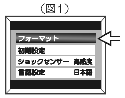
エンジン停止後、電源OFFになります。その後手動で⑩電源ボタンを押すとセキュリティーモードがスタートし1秒間に1コマで3時間記録した後自動で電源をOFFします。

11. フォーマット

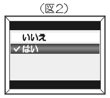
1. メニュー画面から、フォーマット にカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。（図1）
2. いいえ/はいの選択画面が出ますので、「はい」を選んで ⑧十字ボタン中央をすとフォーマットされます。（図2）

注）フォーマットするとSDHCカードの中のファイルは全て消去されます。

（図1）


フォーマット
初期設定
ショックセンサー 高感度
言語設定 日本語

（図2）

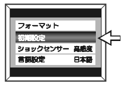


12. 初期設定

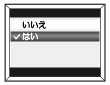
1. メニュー画面から、初期設定 にカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。（図1）
2. いいえ/はいの選択画面が出ますので、「はい」を選んで ⑧十字ボタン中央をすと初期化されます。（図2）

※初期設定をすると工場出荷状態に戻ります。

（図1）


フォーマット
初期設定
ショックセンサー 高感度
言語設定 日本語

（図2）



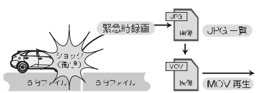
初期設定値

	項目	初期設定値
メニュー	時計設定	2013/12/31 00:00:00
	解像度	1080H
	フレームレート	27.5fps
	セキュリティーモード	オート
	フォーマット	無表示
	初期設定	無表示
	ショックセンサー	中感度
	言語設定	日本語

録画中	マイク	マイクON
	LCD表示	LCD CLOCK
	日時表示	日時表示ON
	停止	STOP

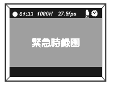
13. ショックセンサー設定

ショックを検知すると JPG 画像を撮り、その時の動画は緊急時録画ファイルになります。緊急時録画ファイルになった後、連続してショックを与えても、次のファイルが始まるまでショック検知は待機となります。JPG 一覧から MOV ファイル内にジャンプして、ショック検知の時点から再生します。緊急時録画ファイルの映像を探す場合大変便利です。

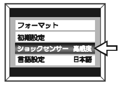

緊急時録画
JPG
画像
JPG 一覧
ショック
（衝撃）
5分ファイル
5分ファイル
MOV
映像
（保護）
MOV 再生

1. メニュー画面から、ショックセンサー にカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。（図2）
2. 高感度、中感度、低感度、オフ の選択画面が出ますので、ご希望の設定を選んで ⑧十字ボタン中央を押します。（図3）

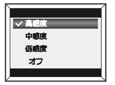
（図1）


01:33 1080H 27.5fps
緊急時録画

（図2）


フォーマット
初期設定
ショックセンサー 高感度
言語設定 日本語

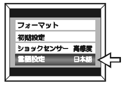
（図3）


✓高感度
中感度
低感度
オフ

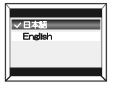
14. 言語設定

1. メニュー画面から、言語設定 にカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。（図1）
2. 日本語、Englishを選択できますので、ご使用の言語を選んで⑧十字ボタン中央を押します。（図2）

（図1）


フォーマット
初期設定
ショックセンサー 高感度
言語設定 日本語

（図2）

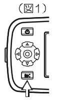

✓日本語
English

15. 再生（巻戻し、早送り、コマ送り）

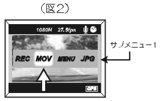
本体再生（MOV）

1. ACアダプタを本体に差し電源を入れます。
2. 録画が始まりますので、一旦⑦ RECボタン（図1）を押して録画を止め、いずれかのボタンを押してサブメニュー1を表示させ MOV にカーソルを合わせ⑧十字ボタン中央を押します。（図2）

（図1）

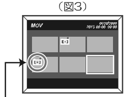


（図2）

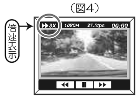

1080H 27.5fps
REC MOV MENU JPG
サブメニュー1

3. 最終のサムネイル画面が表示されますので、再生したい映像ファイルにカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。（図3）
4. ⑧十字ボタンの右、左ボタンを押すと巻戻し、早送りが出来ます。画面左上に巻戻し、早送りの倍速が表示されます。（図4）2回、3回と押すたびに倍速を変えられます。（図5）
5. サムネイル画面上で上下ボタンを長押しすると、次のページに移動します。

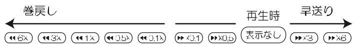
（図3）


MOV
2015-00-00 00:00

（図4）


倍速表示
▶▶3X 1080H 27.5fps 00:00

※緊急時録画を感知したMOVファイルには 📷 マークが付きます。


巻戻し
再生時
早送り
◀◀6x
◀◀3x
◀◀1x
◀◀0.5x
◀◀0.1x
▶▶x0.1
▶▶x0.5
表示なし
▶▶x3
▶▶x6

（図5）

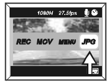
緊急時録画再生（JPG）

緊急時録画をしたファイルは、JPG にまとめられています。（図1）再生方法は本体再生と同じです。（図2）

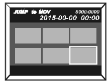
※JPG画像は最大6個まで保護できます。その後は古いファイルから上書きしていきます。

※JPGからMOVへのジャンプ再生は本体、TV再生でのみご使用頂けます。

（図1）


1080H 27.5fps
REC MOV MENU JPG

（図2）


JUMP to MOV 0000/0000
2015-00-00 00:00

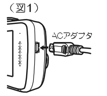
コマ送り再生

1. 再生中に⑧十字ボタン中央を押すと一時停止します。
2. 左右ボタンどちらかを押すと一コマづつコマ送り再生出来ます。

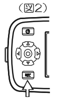
テレビ再生

1. ACアダプタを本体に差し電源を入れます。（図1）
2. 録画が始まりますので、一旦⑦ RECボタン（図2）を押して録画を止め、いずれかのボタンを押してサブメニュー1を表示させ MOV にカーソルを合わせ⑧十字ボタン中央を押します。（サムネイル画面が表示されるまで7～8秒ぐらいかかります）
3. サムネイル画面を確認しましたらHDMIケーブルを接続して下さい。

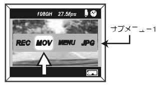
（図1）



（図2）



（図3）


1080H 27.5fps
REC MOV MENU JPG
サブメニュー1

※AV ケーブルは付属されていません。（オプション）
※市販の AV ケーブルはご使用できませんので、別途弊社ホームページまたは、お電話にてお問合せ下さい。

パソコン再生

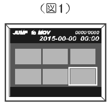
パソコンでの操作については、パソコンメーカー、ソフトメーカーに問い合わせ下さい。
弊社では、パソコンの動作についてのサポートは一切いたしません。

- SDHCカードの容量が大きい場合サムネイル画面の表示に時間がかかる場合があります。
- 本体、TVにて接続再生時ファイルとファイルの間が1.0秒～1.5秒暗くなりますが、録画映像はつながっています。
  録画のファイル間ギャップは0.1秒以下です。
- 再生時に信号機などが点滅するものと点滅しないものが有りますが異常では有りません。
  旧式の電球タイプは常時点灯し、新式のLEDタイプは点滅しますが、人間の目には残像のため信号機は随時点灯して見えます。
- 液晶画面について、炎天下に駐車する場合は液晶画面が映らなくなる事があります。

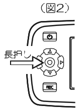
16. ファイル削除

1. サムネイル画面を表示させます。（図1）
2. 消したいファイルにカーソルを合わせ ⑧十字ボタン中央を長押しします。（図2）
2. ファイル消去の画面が表示されますので「はい」を選び ⑧十字ボタン中央を押すとファイルは削除されます。（図3）

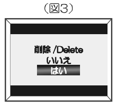
（図1）


JUMP to MOV 0000/0000
2015-00-00 00:00

（図2）



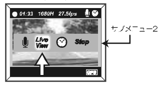
（図3）


削除 /Delete
いいえ
はい

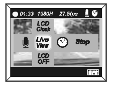
17. 表示画面設定 LCD Clock Live View LCD OFF

録画中、Driveman本体の画面（LCD）表示を切り替えることが出来ます。録画中いずれかのボタンを押してサブメニュー2を表示させ、左から2番目にカーソルを移動させると LCD Clock Live View LCD OFF が表示されます。（図1）ご希望の表示画面を上下で選んで ⑧十字ボタン中央を押し決定します。（図2）（5秒後、自動的に決定されます。）

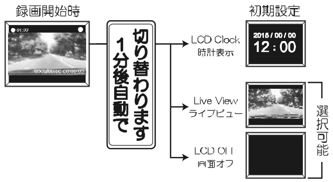
（図1）


01:33 1080H 27.5fps
Live View
Stop
サブメニュー2

（図2）


01:33 1080H 27.5fps
LCD Clock
Live View
LCD OFF
Stop

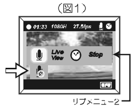
※初期設定は LCD Clock 時計表示になっています。


録画開始時
初期設定
切り替わります
1分後自動で
LCD Clock
時計表示
2015/00/00
12:00
Live View
ライブビュー
LCD OFF
画面オフ
選択可能

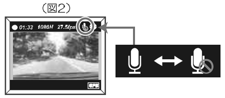
18. 録画中の音声ON/OFF設定

録画中の音声を録音したくない場合に録音をOFFすることが出来ます。録画中いずれかのボタンを押してサブメニュー2を表示させ、🎤マークにカーソルを移動させると 🎤 🎤 が表示されます。（図1）🎤 を選びますと録音がOFFになり右上にマイクアイコンに禁止マークが付きます。（図2）※この設定はエンジンストップや本体の電源をOFFしても保持されます。

（図1）


01:33 1080H 27.5fps
Live View
Stop
サブメニュー2

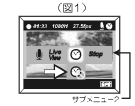
（図2）


01:33 1080H 27.5fps

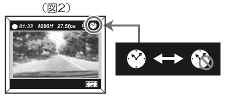
19. 録画中の日時表示ON/OFF設定

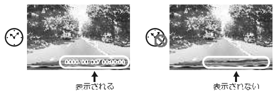
録画した映像には録画日時が記録され再生時に表示されます。
この表示を消して録画することが出来ます。録画中いずれかのボタンを押してサブメニュー2を表示させ、🕒マークにカーソルを移動させると 🕒 🕒 が表示されます。（図1）🕒 を選びますと録画中の日時が記録されません。右上に時計アイコンに禁止マークが付きます。（図2）
※この設定はエンジンストップや本体の電源をOFFしても保持されます。

（図1）


01:33 1080H 27.5fps
Live View
Stop
サブメニュー2

（図2）


01:33 1080H 27.5fps


0000/00/00 00:00:00
表示される
表示されない

20. SDHCカードの容量と録画時間（連続撮影）

		4GB (SDHC)	8GB (SDHC)	16GB (SDHC)	32GB (SDHC)
27.5 fps	1080H	約50分	約2時間	約4時間	約8時間20分
	1080L	約1時間	約2時間15分	約4時間55分	約9時間40分
	720P	約1時間	約2時間15分	約4時間55分	約9時間40分

		4GB (SDHC)	8GB (SDHC)	16GB (SDHC)	32GB (SDHC)
30 fps	1080H	約40分	約1時間50分	約3時間45分	約7時間25分
	1080L	約50分	約2時間	約4時間40分	約9時間30分
	720P	約50分	約2時間	約4時間40分	約9時間30分

21. SDHC カードのご使用について

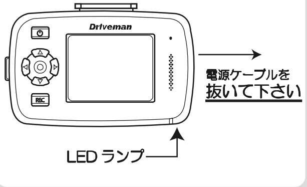
ドライブレコーダーで SDHCカードを使用する場合、デジタルカメラと異なり過酷な環境（常時書き込み、温度変化）で使用しています。SDHCカードは消耗品ですので、毎日乗車（撮影）した場合約１年ぐらいを目安に買換えることをお勧めします。

※半年に１回は本体でフォーマットすることをお勧めします。

22. もし、事故にあった場合のご注意！

1. 事故に遭われた場合は、
   電源ケーブルを抜くか、エンジンを停止してください。
   重要な最終ファイルを記録して電源が切れます。
2. SDカードを抜く際はLEDランプが消えているのを確認してから、本体から外し保管して下さい。
   セキュリティーモード動作中の場合は、RECボタンを押し録画停止を確認してください。（LEDランプ緑色点灯）

※ 大切な映像が上書きして消えてしまう恐れがあります。


Driveman
REC
電源ケーブルを
抜いて下さい
LED ランプ

ドライブレコーダー

Driveman®
1080GS / T1080GS

保証書

サポートセンターのご案内

インターネット（Eメール）

support@driveman.jp

ホームページ

http://www.driveman.jp

お客様サービスセンター
TEL 03-5715-5432
受付時間 平日 10:00～12:30 13:30～17:00
（土曜日、日曜日、祝日、年末年始はお休み）

お客様サービスセンターにおけるお客様の個人情報のお取扱について
お客様より教えていただきました氏名、住所などの個人情報は、お客様から弊社製品へのご相談および修理対応などに利用させていただき、これらの目的以外に利用することはありません。

（キリトリ線）

Driveman® 1080GS / T1080GS 仕様			
撮影画素	FULL HD1080P		1920 x 1080
	HD720P		1280 x 720
ファイル形式	.MOV AVC/H.264		
ビデオフレームレート	27.5fps , 30fps		
記録モード	常時録画方式（自動上書保存）		駐車中録画機能付
外部メモリー	SDHC（Class6以上）		4GB ～ 最大32GB
映像ファイル	1ファイル　5分		
ファイル間無録画時間	0.05秒		
言語	日本語　英語		
LCDディスプレイ	2インチ カラー		
撮影画角	HD　水平130度　垂直75度　対角140度		
	FULL HD　水平90度　垂直55度　対角110度		
レンズ	2.95mm F2.2　固定焦点　ガラスレンズ5枚構成		
使用温度範囲	0℃ ～ +70℃		
保存温度範囲	-20℃ ～ -80℃		
電源	3芯直結用電源ケーブル	標準	DC12V / 24V
	2芯車載用電源ケーブル	オプション （ドライ[illegible]のみ）	
	シガーソケットアダプタ		
消費電力	最大 5W		
時計電力	スーパーキャパシタ		約1週間
GPS	アンテナ内蔵		時刻自動補正
Gセンサー	3軸衝撃センサー（3段階感度調整）		衝撃検知時動画ファイル保護機能
内部電源	スーパーキャパシタ		電源OFF時ファイル録画書込用
LEDランプ	緑待機中		赤録画中
映像出力	HDMI		HD出力
	AV OUT（専用ケーブル）		ライブビュー
マイク	内蔵マイクあり		
スピーカー	内蔵スピーカーあり		
本体サイズ	約61 x 92 x 34mm		
ブラケットサイズ	約45 x 30 x 28mm		回転角度前後180° 左右30° 傾き30°
重量	約100グラム		（本体のみ）
※仕様・外観は、改良の為予告なく変更する場合がございます。			

※仕様・外観は、改良の為予告なく変更する場合がございます。
※取扱説明書に記載のない機能が含まれる場合がございますので、Drivemanホームページを参照して下さい。　http://www.driveman.jp